

JGTO キッズゴルフ
応援プロジェクト

supported by
RICHARD MILLE
RMJAPAN
Foundation

第19回スナックゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市 大会レポート

【2022年10月29日(土曜日) 三木ゴルフ倶楽部 西コース(兵庫県三木市) ※2023年・開場50周年】



- ◇ 新型コロナウイルスの影響により 2020 年は中止となったが、2021 年より東日本エリアと西日本エリアに分割して復活。今年 2022 年も同じ方式で継続開催。
- ◇ 三重県から沖縄県までの 24 校 124 名がエントリーし、選手・引率・応援・ボランティア等を含めた総勢約 450 名が来場。
- ◇ 都道府県予選会は 17 地区で計画され、うち 4 地区が普及途上のため参加者少数で見送り。
- ◇ 出演プロゴルファー及び運営スタッフは抗原検査での陰性を確認し、参加選手及び引率者は健康観察の自己管理のもと、万全な感染症対策を講じて開催。
https://drive.google.com/file/d/1pkSV4X9dgiJxnRfjbgm-q59Hyxb_0qQn/view
- ◇ 感染症が多少の落ち着きを見せていたことを受けて、「厚生労働省より、マスクについては屋外では原則不要となっておりますので、プレー中はマスクをはずしてプレーしてください。」というアナウンスを行いイベントを進行。
- ◇ 大会は秋晴れの絶好のコンディションのなかで無事、盛大に開催できた。





- ◇ ジャパンゴルフツアー選手会の協力により、重永亜斗夢プロをキャプテンに、星野英正プロ、ハン・リー プロ、木下康平プロ、松本将汰プロ、そしてゴルフタレントの黒田カントリークラブさんが、JGTO ドリームチームとして参戦。子どもたちと、同じクラブ、同じボール、同じ距離でガチンコ対決に挑んだ。
- ◇ 更にプロゴルファーの活躍を盛り立てるべく、地元三木市を中心に、キッズキャディが名乗りをあげて、道具のサポートはもちろんのこと、ドリンクやおしぼりなど用意して支えた。



- ◇ 大会運営は、地元・三木市より、三木商工会議所青年部の方々、関西国際大学の学生さん、三木市スポーツ推進委員会の委員の皆さん、そして各学校のボランティアの皆さんが、スコアラー業務やコース設営、カレーライス提供、キッズキャディなど、様々な業務に携わり運営を支えてくれた。





- ◇ 選手宣誓は、前回大会の優勝校である広島県の東広島市立三ツ城小学校を代表して6年の大谷颯也くんが元気よく宣誓した。
- ◇ 開会式では、「ゴルフのまち」三木市長・仲田一彦さんより、激励のメッセージを頂いた。



- ◇ 開会式では小学校チームも、プロゴルファーとキッズキャディも、「決めポーズ！」で入場した。木下康平プロと入場したキッズキャディの西宮市立神原小1年の伊藤舜くんは、ステージ中央で「ブリッジのポーズ」で会場を沸かせた。



★大会トピックス★



宮崎県代表で宮崎市小学校選抜5年生の山下舞朗<まろう>くんは、親御さんのお仕事の都合から、宮崎港から神戸港までのフェリーでの一人旅で参戦することに。宮崎港を夜19:10に出向して神戸港に翌朝7:30に到着。そこからアテンドスタッフのサポートを受けてゴルフ場までやってきた。開会式でステージに登壇して旅の感想を披露すると労いの温かな拍手で歓迎された。



選手たちは華麗なスイングと、きびきびしたプレーぶりで、将来のプロゴルファーそのもの。





☆ JGTO ドリームチームのプロゴルファーの皆さんは、ゴルフの技術のみならず、プレー中もプレー外でも、子どもたちとの交流を図り、子どもたちを楽しませるファンサービスに徹した。





◇ 成績集計までの合間には、小学生と JGTO ドリームチームによる、レクリエーション対決として、早口言葉やロープくぐり、そしてピンポン球スプーン運びゲームなどで盛り上がった。





◇ 優勝は、兵庫県・神戸市立塩屋北小学校チーム。13年連続14回目の出場にして初の大会制覇となった。塩屋北小学校は、サントリーレディスオープンにおける社会貢献活動の一環としてスナッグゴルフ用具の寄贈を受け、地域スポーツクラブでの活動を地道に続けてきた。

◇ 一打差の2位には、過去6回の全国大会最多勝を誇る広島県・東広島市立三ツ城小学校チームが、続く3位には同じく広島県・東広島市立東西条小学校が入賞し、来季のシード権を確保した。

◇ 注目のJGTOドリームチームは、キャプテン・重永亜斗夢がベストスコアの22ストロークを叩き出し、更にスタートホールでティショットを直接フラッグにくっつける「コンドル」を達成した木下康平と、ベテラン星野英正の23ストロークが光り、優勝した塩屋北小学校に6打の差をつけてプロの威厳を保った。JGTOドリームチームの戦歴は、12戦8勝3敗1分けと勝率を伸ばした。



2位 三ツ城小学校



3位 東西条小学校



- ◇ 恒例のアトラクションでは、パイナップルを片手に、リズムカルなダンスで会場を沸かせた。
- ◇ パイナップルは、バナナの王様「甘熟王(かんじゅくおう)でおなじみの株式会社スミフルジャパンさんから、パインの王様「甘熟王(かんじゅくおう)パイン」を、ご提供頂きました。スミフルジャパンさん、盛り上げに貢献頂きありがとうございました。



- ◇ 大会の締めくくりとなる代表児童の挨拶は、ジャパングルフツアー開幕戦・東建ホームメイトカップにおける地域社会貢献活動でのスナッグゴルフ活動から参加した、三重県代表・桑名市立大山田東小学校 5年・中野真歩(なかの・まほ)さんが務めた。

『今日は、私たちの、スナッグゴルフ大会のために、たくさんの方々に応援して頂き、ありがとうございました。

私たちの住む、三重県桑名市では、東建ホームメイトカップゴルフトーナメントの開催をきっかけに、2011年に日本ゴルフツアー機構から、スナッグゴルフがプレゼントされました。

毎年4月には桑名市スナッグゴルフ大会も開催され、これをきっかけに全国大会に出場することが出来、沢山のゴルフのお友達と出会うことができました。

私たちの活動を支えてくれている皆さん、この大会を応援してくれている皆さん、本日は本当にありがとうございました。



◇ 表彰式終了後は、出場 24 校が JGTO ドリームチームとの記念撮影で、全国大会の思い出を写真に収め、プロの皆さんの直筆サインを求める列が長く続いた。



◇ 大会中には、来賓及び関係団体による「昼食会」を開催し、キッズゴルフ普及に関する全国での取り組みの状況、そして今後の展開などについての意見交換を行った。とりわけ三木市の中学校へのスナッグゴルフの導入は、迅速に進める方向で準備を進めていくこととなった。



◇ 全国大会の翌日には、「震災復興について学ぼう」と、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災後に建てられた、「人と防災未来センター」を社会学習見学した。



◇ ●JGTO オフィシャルホームページ掲載記事

第 19 回スナッグゴルフ全国大会 神戸市立塩屋北小学校が頂点に！（10月29日）

10月29日（土）、秋晴れの最高の天候の中、兵庫県は三木市にある三木ゴルフ倶楽部を舞台に『[JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リシャールミルジャパン基金](#)』第19回『スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市』が開催された。

愛知から沖縄エリアの24校全124名が、日本一の座をかけて熱戦を繰り広げた。

また、今回も大会を応援するために JGTO ドリームチームが結成。6人のツアープロ（？）が集結した。今回キャプテンを務めたのは8年ぶり2回目の出場となる重永亜斗夢。久々の出場を心待ちにしていた。重永をはじめとする豪華なメンバーの面々は、宮城県出身で現在は兵庫県を拠点にしているツアー3勝の実績を持つ星野英正と韓国生まれのアメリカ育ちのハン・リーは今回が初出場。メンバーの中で最多出場の3回を誇る木下康平に、今年7月の東日本大会に続き2回目の出場となる松本将汰。そして最後の1人はツアープロではないものの、今回自ら大会を盛り上げ、そしてゴルフの裾野を広めるべく自ら名乗りをあげたゴルフタレントの黒田カントリークラブが初参戦。キャラクターの異なる6人の結束力はいかに!?



大会を制したのは神戸市立塩屋北小学校。74ストロークで見事全国の頂点に立った。活動を始めたのは15年前。監督を務める竹部法子さんは、今年が最後となる6年生が3人いる中で優勝できて感無量とのことだった。2位は75ストロークで広島県の東広島市立三ツ城小学校、3位は東広島市立東西条小学校が79ストロークで入賞を果たした。

なおベストスコア賞は、青コースが23ストロークでプレーした神戸市立塩屋北小学校の石田健児さん、赤コースが25ストロークで神戸市立塩屋北小学校の岩崎美緒さんと東広島市立三ツ城小学校の中島脩杜さんの2人が受賞した。

一方、気になるドリームチームの成績は68ストロークでプロとしての面目を保った。トップはキャプテンの重永の22ストロークで、星野と木下が23ストロークで続いた。注目の黒田カントリークラブはまさかの33ストロークでスーパーサブの役目を果たすことはできなかった。



- 重永亜斗夢

「めちゃくちゃ楽しかったです。自分が今試合を休ませてもらっている中で、純粹にゴルフを楽しめました。子どもたちを見ていると上を見てしかやっていないので、そういう姿を見ると初心を思い出すというか、本当にいい時間でした。また、必ず参加したいと思います」

- 星野英正

「みんな真剣で、いい姿を見ました。スナッグゴルフは何度か打った経験はあるんですが、徐々に感じがつかめてきたので楽しかったです。みんなスイングがしっかりしているし、これが将来ゴルフクラブに持ち替えて、この中からすごいプロゴルファーが出てもおかしくないと感じました。また是非！」

- ハン・リー

「亜斗夢に怒られちゃいました。(笑)でも本当に楽しかったです。子どもたちの上手さにびっくりしました。スイングもキレイだし、教えてもらいたかったです。また来年も出られたら頑張ります！」

- 木下康平

「ちょっと今日は難しかったです。1位になりたかったですね。でもパー5でホールインワンできて嬉しかったです。本当にみんな上手くて驚きです。子ども達の頑張っている姿を見ると自分ももっと頑張ろうと思いましたね。また参加します」

- 松本将汰

「序盤最高だったんですけど、途中で止まっちゃいました。一人飛距離で負けちゃったので出直してきます。みんな全力で真剣にやっている姿は、自分にとっても刺激になりました。本当に楽しかったです」

- 黒田カントリークラブ

「ボギーフリーでしたよ！でもこれじゃ全国には行けませんよ！ってキッズキャディに言われました。(笑)子ども達の真剣さも伝わって、ゴルフの楽しさというか原点に触れられた気持ちです。また是非じゃなくて、明日から、いや今日からやり直したいと思います！」

[『大会成績はこちら』](#)

社会科見学会を実施<スナッグゴルフ全国大会> (10月30日)



『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リシャルミルジャパン 基金』第19回スナッグゴルフ対抗戦 JGTOカップ全国大会 in 三木市は、秋晴れの晴天に恵まれ盛大に開催され、全国から集まった選手たちは大会の翌日に、「震災復興について学ぼう」と、社会学習見学に参加した。

1995年1月17日に突然起こった大地震は、近年の首都大災害としては備えが十分ではない中で、多くの犠牲を伴ったが、一方で多くの教訓も残した。

その後、2011年3月11日に発生した東日本大震災では、津波という新たな災害の発生とはなったものの、阪神淡路大震災での教訓が、多くの場面で生かされたようだ。

スナッグゴルフ全国大会に出場した児童たちは、いずれの震災も記憶にない新しい世代ではあるが、「人と防災未来センター」を訪問して、当時の様子を展示や映像で学んだほか、語り部の方の実体験を交えたお話しで、臨場感あふれる身近な災害として真剣に聞き入っていた。



東日本大震災の復興支援として、[2013年から宮城県](#)、そして[2016年から福島県で開催のスナッグゴルフ全国大会](#)は、コロナ感染症からの復興も願って、[昨年2021年からは東西分割により、兵庫県でも新規開催となり](#)、引き続き青少年の健全育成と震災復興による教訓を学ぶというテーマでも、子どもたちには沢山の経験による成長を応援していける大会として未永く継続していけることだろう。

「ゴルフのまち三木市」の中学校 6 校全校にスナッグゴルフを寄贈（11月1日）

「JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト

supported by リシャルミルジャパン基金」

第 19 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市の開催から 3 日後、青木功会長が三木市を訪れ市内の中学校 6 校全校と三木市立三木特別支援学校（小学部&中学部）そして三木スポーツ推進委員会にスナッグゴルフ・スクールセットを寄贈した。



右:三木市・仲田一彦市長 左:青木功会長

寄贈式では、中学校に導入されるスクールセットの用具がカラフルに並べられ、用具を囲む形で仲田一彦市長と青木会長で記念撮影をパチリ。続いて列席の記者の方から『クラブを持って構えているポーズをお願いします』とのリクエストに、両者ボールをティアアップしてポーズをとるやいなや、青木会長が『エイっ』とチップショット!!



和やかな寄贈式となった。

再度ポーズをお願いして写真を撮ろうとすると更に「バチン」ともう一発。

間髪入れずに 3 発打ったあと、『オレはゴルフが好きなんだよなあ』とポツリ。80 の歳を超え、体に染み込んだゴルフの魂が、クラブを握ることにより条件反射で蘇るその姿で、ゴルフ愛をたっぷり披露。

更に、『15 才からゴルフを始めて～』と子どもの頃の思い出を懐かしそうに話すなど、

三木市には 25 のゴルフ場があり、ゴルフ場利用税をゴルフに還元する仕組みをいち早く導入し、市内でのゴルフイベントの誘致やジュニア育成に力を入れ、高校・中学ゴルフ選手権、いわゆる春高の開催なども行なっている。もともと「金物のまち」「酒米のまち」などセールスアイテムはあったが、ゴルフを全面に押し出しての活動を推進している。

三木市では、既に小学校 13 校全校がスナッグゴルフを導入しており、三木市スナッグゴルフ大会稲田三郎カップには多くの児童たちが挑戦し、予選を勝ち抜いて挑んだ三木市立広野小学校が先の全国大会で 5 位入賞と健闘している実績のある市でもある。



日本ゴルフツアー機構では、小学校へのスナッグゴルフの寄贈導入活動を長年推進してきたが、中学に進学するとゴルフ部がないため、その先の発展に課題を感じていた。今後は、この新しい取り組みにより、一歩前進したゴルフの発展を、三木市と日本ゴルフツアー機構で共に目指していく。

用具の導入を受けた仲田一彦市長は、『中学校での体育の授業や総合学習の時間で活用したい』と意気込みを話した。

今後、プロゴルファーが中学校に訪問し、ゴルフの技術のみならず、楽しさや魅力、そしてキャリア授業にも役立つ講話も交えてその魅力を伝えていく予定だ。

『JGTO キッズゴルフ応援プロジェクト supported by リチャードミルジャパン基金』
第19回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 in 三木市

三木ゴルフ倶楽部 西コース 9ホール 507ヤード パー36

優勝 神戸市立塩屋北小学校(兵庫県) 74 ストローク	13位 西宮市立北夙川小学校(兵庫県) 94
2位 東広島市立三ツ城小学校(広島県) 75	14位 伊江村立伊江小学校(沖縄県) 95
3位 東広島市立東西条小学校(広島県) 79	15位 伊江村立西小学校(沖縄県) 95
4位 神戸市立井吹東小学校(兵庫県) 79	16位 加東市立東条学園小中学校(兵庫県) 104
5位 三木市広野小学校(兵庫県) 85	17位 三木市小学校選抜チーム(兵庫県) 105
6位 尾道市立御調中央小学校(広島県) 85	18位 高松市立栗林小学校(香川県) 106
7位 宮崎市小学校選抜チーム(宮崎県) 86	19位 徳島県小学校選抜チーム(徳島県) 106
8位 播磨町立播磨南小学校(兵庫県) 87	20位 桑名市立大山田東小学校(三重県) 107
9位 西宮市立神原小学校(兵庫県) 87	21位 宝塚市立西山小学校(兵庫県) 109
10位 尾道市立因島南小学校(広島県) 88	22位 桑名市立星見ヶ丘小学校(三重県) 116
11位 岡山市立平島小学校(岡山県) 89	23位 西原村立山西小学校(熊本県) 118
12位 南山大学附属小学校(愛知県) 89	24位 糸島市立前原南小学校(福岡県) 136

★JGTO ドリームチーム 68 <12戦 8勝 3敗 1分け>

※同ストロークの場合はスコアの少ない選手がいる学校が上位となる

●ベストスコア賞

赤コース 25 ストローク 11 アンダー

岩崎美緒(神戸市立塩屋北小学校 6年生)

中島脩杜(東広島市立三ツ城小学校 6年生)

青コース 23 ストローク 13 アンダー

石田健児(神戸市立塩屋北小学校 6年生)

JGTO ドリームチーム 22 ストローク 14 アンダー 重永亜斗夢

●アルバトロス賞

1番ホール 81 ヤード 石田健児(神戸市立塩屋北小学校 6年生) 中島脩杜(東広島市立三ツ城小学校 6年生)

古川彰真(西宮市立神原小学校 5年生) 鳥居空磨(南山大学附属小学校 5年生)

4番ホール 79 ヤード 石田健児(神戸市立塩屋北小学校 6年生) 鳥本心晴(播磨町立播磨南小学校 6年生)

●ホールインワン賞

2番ホール 20 ヤード 大城芽依(伊江村立伊江小学校 6年生) 金山杏(尾道市立因島南小学校 5年生)

向井誠之佑(高松市立栗林小学校 4年生) 玉川悠真(宝塚市立西山小学校 3年生)

5番ホール 23 ヤード 難波正継(東広島市立東西条小学校 6年生)

8番ホール 17 ヤード 中島脩杜(東広島市立三ツ城小学校 6年生) 名嘉真萌衣(伊江村立西小学校 6年生)

伊藤愛桜(桑名市立星見ヶ丘小学校 4年生) 大島來紗(神戸市立井吹東小学校 4年生)

照屋桜翔(伊江村立西小学校 4年生) 箱崎詩侑(尾道市立因島南小学校 3年生)

<<スコア集計(計算)方法>>

※チームが同スコアの場合に、上位3名に限らず最もスコアの少ない選手の学校が上位となる。更に同じスコアの場合には、次にスコアの少ない選手の学校が上位となる。尚、全選手のスコアが同じ場合、最もスコアの少ない選手のスコアを9番ホールからカウントバックして決定します。

●製作物・掲出物・ご提供商品



<ご提供ありがとうございました!!!>

- 株式会社TSI: ジャックバニー・キャップ
- ハウス食品: 「咖喱屋カレー・甘口」と「ごちレピライス・ルーローハン」
- 株式会社スミフルジャパン: 「熟撰おいしいバナナ」と「甘熟王パイン」
- 三木市ゴルフ協会: 地元の素材で作られた「ボスアンドマムのアイスクリーム」
- 住友ゴム工業株式会社: ゴルフ用ジュニアグローブ全員分
- 日本スナッグゴルフ協会: 試合用「ボール」



【公益財団法人ベルマーク教育助成財団】
公式ホームページ



<https://www.bellmark.or.jp/>

☆公式サイト内のベルマーク新聞にて近日記事ご紹介の予定

【神戸新聞 2022年10月31日・朝刊】

神戸新聞 2022年10月31日 月曜日 面名 三木 1.4 23ページ

スナッグゴルフ全国大会 広野小5位「もっと上に」



スナッグゴルフの全国大会で熱戦を繰り広げる小学生たち。三木ゴルフ倶楽部

神戸の塩屋北小が優勝

子ども向けのゴルフ「スナッグゴルフ」の全国大会（神戸新聞社後援）が、三木市細川町垂穂の三木ゴルフ倶楽部で開かれた。24チーム124人が出場し、神戸市立塩屋北小学校が優勝した。地元三木勢では広野小学校が5位に入った。

優勝した塩屋北小の石田健児主将（11）は「アプローチがいつも以上によく、アルパトロスやイーグルが取れた。目標としていた大会で優勝できうれしい」と笑顔。広野小の宮本航海主将（11）は「飛距離が出せたのは良かったが（5位より）もっと上にいきたい」と悔しがった。

スナッグゴルフは、プラスチック製クラブとテニスボールに似た軟らかいボールを使用し、子どもでもゴルフを楽しめる。大会は日本ゴルフツアー機構と日本スナッグゴルフ協会が主催し、今回で19回目。昨年からは東西に分けて開催し、西は三木市が会場となっている。

大会は29日に行われた。

（長沢伸一）

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

**全国大会の様子は
YouTubeにて
12月下旬に放送予定**

【 JGTO TV 】

<https://youtube.com/@JGTOInterview>



JGTOキッズゴルフ応援プロジェクト



リシャールミルジャパン基金

特別協賛

TSI Inc. 株式会社TSI



ディライトワークス株式会社

助成



公益財団法人 ジュニアゴルファー育成財団

協賛・寄付

※五十音順

栄和リサイクル株式会社／株式会社キヌガワプランニングオフィス
株式会社コーベヤ(稲田三郎)／秀明印刷株式会社／JA福島中央会
スナッグゴルフジャパン／株式会社スポーツITソリューション／住友ゴム工業株式会社
株式会社スミフルジャパン／総合リゾートライフ株式会社／大和リース株式会社
有限会社高橋啓之設計事務所／株式会社テクノクラフト
東洋建設工業株式会社／弁護士 中野辰久(東京弁護士会)
日本スナッグゴルフ協会／西郷村／ハウス食品株式会社
医療法人ひまわりこどもクリニック／株式会社プラグインプロダクツ
株式会社フレンド企画／富士産業株式会社／株式会社プレジャー
ポエック株式会社／松永カントリークラブ／ブライシス株式会社

支援プロゴルファー

青藤池宮小塩小	木田里平見鯛松谷岩岡下	寛勇優好竜隆拓龍颯康	功之太作智輝也光実一太平	中宮石浅塚竹出水星石清山	嶋本川地田谷野坂水路	常勝洋陽佳大二郎陸友大	幸昌遼佑亮孝也宏成幹	倉谷川重稲永比大伊星	本原村永森野嘉槻藤野	昌秀昌亞斗竜一智優有英	弘人弘夢貴太郎貴春和志正	谷小上増岩額木片桂松八	口田井田田賀下岡川本	孔邦伸辰稜尚有将	徹明裕洋寛徳介之人汰一
---------	-------------	------------	--------------	--------------	------------	-------------	------------	------------	------------	-------------	--------------	-------------	------------	----------	-------------

第19回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会in三木市の開催にあたりご支援を頂き厚く御礼申し上げます。